



株式会社トリドール

株主通信

第25期 事業報告書

2014年4月1日～2015年3月31日



好評のテレビCMと フェアメニューで 既存店の売上がアップ

◆ 知床いくらうどん

北海道知床産の獲れたて天然いくらをたっぷりのせ、さっぱりしたみぞれあんの出汁で味わうあんかけうどん。プチプチとした食感と濃厚な味わいのいくらを贅沢に使用しました。テレビCMでは、「いくらなんでも」というフレーズで「知床いくらうどん」の見た目 の豪華さや贅沢な味わいに驚く様子を表現しました。



◆ W カツカレーうどん

うどんととんかつの驚きの組み合わせ。分厚く食べ応えのあるロースカツを2枚とスパイスの効いたカレーに和風だしをブレンドしたカレーうどん。テレビCMでは、とんかつの「カツ」と受験や就職活動の試練に「勝つ」というダブルのメッセージを込めた、「喝！ 勝！ 活！」のフレーズで力強く表現しました。



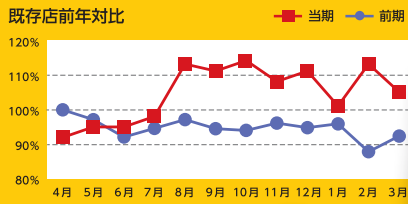
毎回ご好評いただいているテレビCMとフェアメニューの新シリーズが続々と登場。「肉盛りうどん」、「タル鶏天ぶっかけうどん」に続き下半期は、「知床いくらうどん」、「Wカツカレーうどん」、「だし玉肉うどん」を販売。

◆ だし玉肉うどん

焼きたての大きなだし巻き玉子が目を引く食べ応え抜群のうどん。だし巻き玉子の中には、うどんに使うかえし醤油で甘めに炊いた牛しぐれ煮がたっぷり詰まっています。テレビCMでは、「でっかいだし玉だし！！」など「～だし！」というフレーズで視覚的なインパクトや驚きと共に、歌で食べる嬉しさを表現しました。



商品のヒットにより売上が大きく伸張



販促ツールも
充実



創業業態 焼き鳥ファミリーダイニング 「とりどーる」が関東に初進出

とりどーる鎌ヶ谷店

お子様からご年配の方まで、ご家族と一緒に楽しめる焼き鳥ファミリーダイニングです。昭和60年兵庫県加古川市に開業してから30年、日々積み重ね成長を遂げてきたとりどーるの力を結集させたメニューの数々を皆様にお届けいたします。焼き鳥は勿論、揚げたての唐揚げやうま味たっぷりの釜めしのほか、新たにピッツアやパエリアなど新メニューもご用意しました。



洋風の店内



魚介たっぷり野菜とチキンのパエリア



炭火焼き照り焼きチキンのピッツア



とりどのポテトサラダ

カフェの新業態 「クローバー珈琲焙煎所」を出店

毎日店内で焙煎する挽きたて豆を使った珈琲は、一杯ごとのハンドドリップで丁寧にお淹れします。豆を炒っている香ばしい香りにつつまれながら、リラックスした時間をお過ごしください。また、店内で焼き上げたパンを使ったサンドイッチやフレンチトーストもおすすです。



全ての豆を焙煎する焙煎機



一杯毎のハンドドリップ



厚切りのフレンチトースト

ナイロビに「テリヤキ・ジャパン」オープン



日系外食企業としてアフリカ大陸に「teriyaki JAPAN (テリヤキ・ジャパン)」が初進出しました。焼き鳥を発展させた和のファーストフードを現地スタッフが手

作りでご提供します。この店舗を中心に、2017 年末までにケニア国内 20 店舗展開を目指しています。

「まるごとまるがめ体験教室」を実施



「讃岐うどん文化」の伝承とお客様への『食育』に貢献するため、全国で「まるごとまるがめ体験教室」(うどん教室) を開催。実

際にうどんが出来上がるまでの流れを子どもたちが体験。丸亀製麺がこだわる“手づくり・できたて”を味わっていただきます。

株主ご優待 株主優待制度の内容を拡充しました

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方に長期間保有いただくことを目的とし、株主優待制度を導入しております。平成 27 年 4 月 10 日に株主優待制度の拡充を決定し、下記の内容に変更いたしました。

株主優待の内容	
下記のとおり保有株式数に応じて、当社店舗でご利用いただける優待割引券を贈呈いたします。	
保有株式数	優待内容
100 株以上～ 500 株未満	100 円割引券 10 枚綴り 2 シート (2,000 円相当)
500 株以上～ 1,000 株未満	100 円割引券 10 枚綴り 6 シート (6,000 円相当)
1,000 株以上	100 円割引券 10 枚綴り 10 シート (10,000 円相当)



よくあるご質問と回答 (FAQ)

Q 1 回につき何枚まで利用できますか。

A 利用制限はありません。

Q どの店舗で利用できますか。

A 国内の直営店舗でご利用いただけます。
(一部ご利用できない店舗がございます。利用可能店舗につきましては、ホームページにてご確認ください。)

Top Message



株式会社トリドール
代表取締役社長

栗田 貴也

株主の皆様へ

平素は、トリドールに格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

創業以来、弊社は、「できたて、本物のおいしさを、すべてのお客様へ」の思いを原点に、「ひとりでも多くのお客様にいつまでも愛され続ける地域一番店」を目指して、邁進してまいりました。お陰様で、そうした弊社の方針や店舗戦略を多くの皆様からご支持いただき、業容を拡大することができました。

弊社は、これからも国内基盤をさらに強固なものにし、主力の丸亀製麺業態を牽引役に、継続的な成長を実現するとともに、新業態の開発や海外展開を積極化するなど、果敢な挑戦を継続し、複数の成長軸をもつグローバル企業へと成長してまいりたいと考えております。

これからも社員一同心を合わせ努力を重ねてまいりますので、トリドールの成長にご期待いただきますとともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第25期 財務諸表 決算ダイジェスト 平成27年3月期

経営成績の概況

連結PL (IFRS)

	当 期				
	実 績	売上比	計 画	売上比	計画比
売上収益	87,294	—	84,803	—	102.9%
営業利益	4,175	4.8%	3,900	4.6%	107.1%
税引前利益	3,614	4.1%	3,628	4.3%	99.6%
当期利益	2,011	2.3%	1,762	2.1%	114.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,982	2.3%	1,732	2.0%	114.4%

業績ハイライト ・売上、利益ともに、堅調に推移 ・減損損失を21.6億円計上

財政状態の概要

当期の親会社所有者持分比率は42.9%、有利子負債依存度は36.4%増資の影響等により有利子負債依存度が低下

連結BS (IFRS)

	当期末		前期末		
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減
資産合計	59,019	100.0%	52,885	100.0%	6,134
流動資産	17,997	30.5%	10,454	19.8%	7,543
非流動資産	41,022	69.5%	42,430	80.2%	△1,409
負債資本合計	59,019	100.0%	52,885	100.0%	6,134
負債合計	33,659	57.0%	34,790	65.8%	△1,131
(うち、有利子負債)	21,489	36.4%	24,984	47.2%	△3,495
流動負債	18,329	31.1%	16,402	31.0%	1,928
非流動負債	15,330	26.0%	18,389	34.8%	△3,059
資本合計	25,359	43.0%	18,094	34.2%	7,265
(うち、親会社の所有者)	25,302	42.9%	18,074	34.2%	7,228

前 期		
金 額	売上比	前期比
78,318	—	111.5%
2,643	3.4%	157.9%
2,374	3.0%	152.2%
978	1.2%	205.7%
975	1.2%	203.3%

主な増減要因

■資産の増加

・増資等による現預金の増加

■負債の減少

・下半期での借入がなかったことによる影響

※IFRSの任意適用に伴う減価償却方法の変更により固定資産が増加しております。

キャッシュ・フローの概況

出店の抑制の影響により、現金および現金同等物の残高は増加

連結CF (IFRS)

	当 期	前 期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,497	6,539	2,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,468	△8,170	4,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	977	2,494	△1,517
現金及び現金同等物の期末残高	14,992	7,635	7,357

主な増減要因

■営業活動によるキャッシュ・フロー

既存店の伸張に伴う収入増加

■投資活動によるキャッシュ・フロー

新店出店抑制による出店投資額の減少

■財務活動によるキャッシュ・フロー

借入の減少 / 増資による収入増

IFRSとは

IFRSとは、International Financial Reporting Standardsの略称で、邦訳は国際会計基準といいます。

IASB(国際会計基準審議会)が作成している会計基準です。

IFRSとは一言でいえば、世界中で使える共通の業績を図る基準「モノサシ」ということができます。

IFRSを導入することにより、以下のようなメリットが期待できます。

1. 海外の同業者との比較可能性の向上
- のれんの償却
- 企業が他の会社を買収した場合に生じる「のれん」は、日本基準では毎期の費用として計上しますが、IFRSではこの償却をしないため、買収後の収益が、IFRSを適用している会社と比べて悪化したように見えてしまうのを避けることができます。
2. 海外投資家や取引先による財務内容の理解の向上
- 日本基準は日本だけに認められた基準であり外国では原則として認められていませんが、IFRSであれば多くの国で認められています。例えば米国市場など海外のマーケットに上場しようとした場合、日本基準では米国基準の財務諸表などとの調整表が必用ですが、IFRSであればその必要はありません。
3. 連結決算の作業コストが削減できる
- 海外子会社の財務諸表を調整無く合算することができるため、連結作業が容易になりコストが削減できます。
4. グループ内内部管理(予算等)やITシステムを統一することで海外子会社を含めた減損や資産管理が一元的に出来るようになります

当社決算における日本基準との違い

	日本基準 (J-GAAP)	国際会計基準 (IFRS)
営業利益	売上総利益 - 販売費及び一般管理費	売上総利益 - 販売費及び一般管理費 - 減損損失 + その他の営業収益 - その他の営業費用
経常利益	営業利益 + 営業外収益 - 営業外費用	経常利益、特別損益の概念はなく、金融収益、金融費用及び持分法による投資損益以外は、営業利益に加減
その他の営業収益	—	J-GAAPの営業外収益・特別利益の内、金融収益(受取利息、為替差益等)、持分法による投資利益を除く
その他の営業費用	—	J-GAAPの営業外費用・特別損失の内、金融費用(支払利息、為替差損等)、持分法による投資損失を除く
金融収益	—	受取利息、為替差益等
金融費用	—	支払利息、為替差損等

◎株式の状況

(2015年3月31日現在)

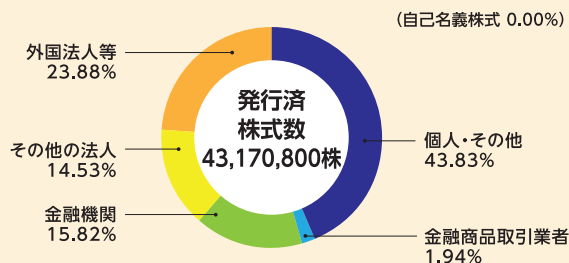
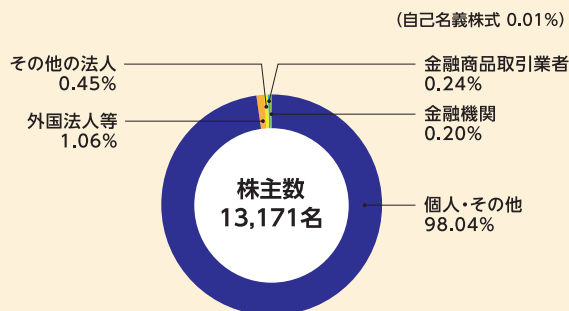
証券コード 3397
発行可能株式総数 115,200,000株
発行済株式の総数 43,170,800株
株主数 13,171名

◎大株主持株数比率	持株数(株)	持株比率(%)
栗田貴也	13,782,000	31.93
有限会社ティーアンドティー	5,880,000	13.62
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	1,568,000	3.63
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズ ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	1,500,000	3.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,406,900	3.26
ビービーエイチ フィデリティ ビューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシック オポチュニティズ ファンド	1,249,800	2.90
チェースマンハッタンバンクジーティーエス クライアントアカウントエスクロウ	1,136,178	2.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	985,700	2.28
ジェービーエムシービー kreditsisセキュリティーズ ヨーロッパジェービーワイ1007760	716,217	1.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	630,000	1.46

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

◎所有者別株式分布状況

(2015年3月31日現在)



◎役員 (2015年3月31日現在)

代表取締役社長	栗田貴也	監査役	安井義昭
専務取締役	長沢 隆	監査役	池田隆行
取締役	田中公博	監査役	梅木利泰
取締役	鈴木邦明		

◎会社概要 (2015年3月31日現在)

社名	株式会社トリドール
主な事業内容	飲食店の経営
設立	1990年6月11日 有限会社トリドールコーポレーション設立 1995年10月28日 株式会社トリドールに組織変更
資本金	38億1,063万円

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎ 0120-288-324
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ホームページURL http://www.toridoll.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。



〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号日本生命三宮駅前ビル11階
TEL.078-200-3430(代表) TEL.078-200-3433(IR専用)

<http://www.toridoll.com/>

※この冊子についてのお問い合わせは、上記IR専用電話番号までお願いいたします。

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめとしてIR情報や会社情報など様々な情報をご案内しております。